

ダウンパーカーのパターンメイキング

ダウンの種類と量



HIMARAYAN PARKA



BALTRO LIGHT JACKET



NUPTSE JACKET



BELAYER PARKA



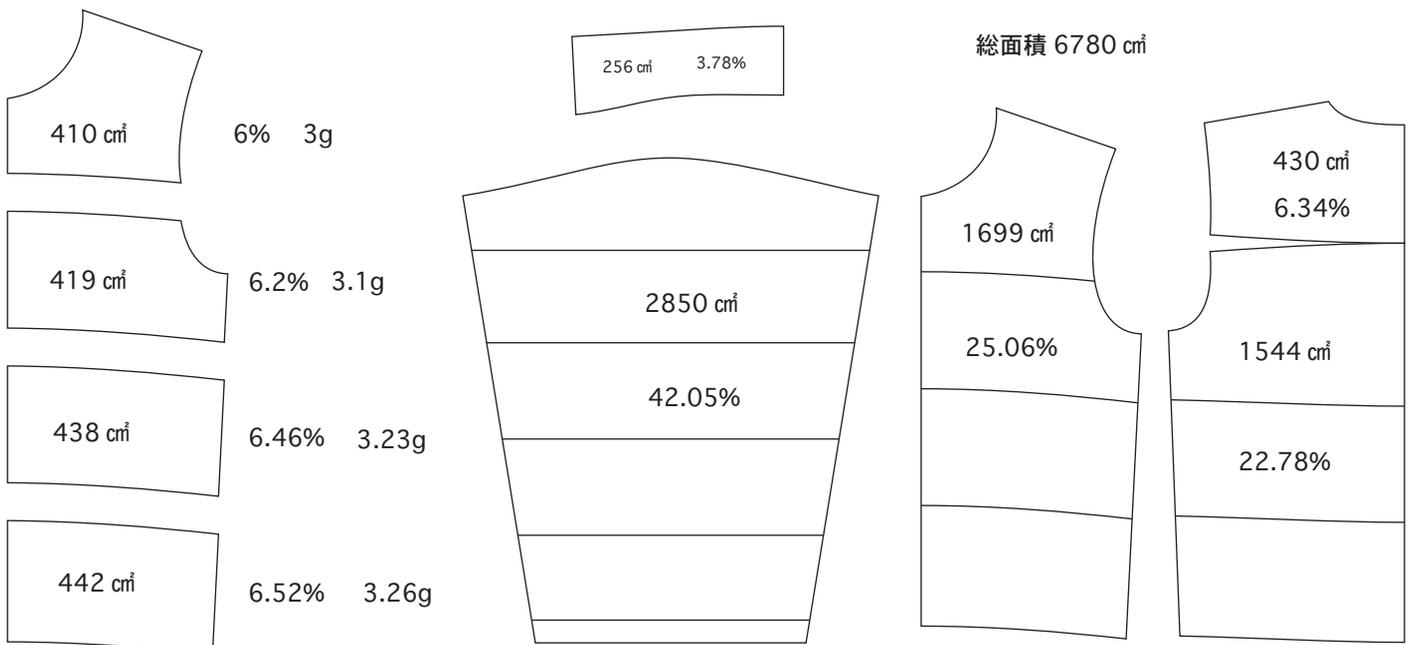
LIGHT HEAT JACKET

品名	種類	総ダウン量
HIMARAYAN PARKA	撥水光電子ダウン900FIL	470g
BALTRO LIGHT JACKET	光電子ダウン550~600FIL	282g
NUPTSE JACKET	リサイクルダウン650FIL	193g
BELAYER PARKA	超撥水光電子ダウン500~550FIL	269g
LIGHT HEAT JACKET	超撥水光電子ダウン500~550FIL	60g

ダウン量の配分

●面積比

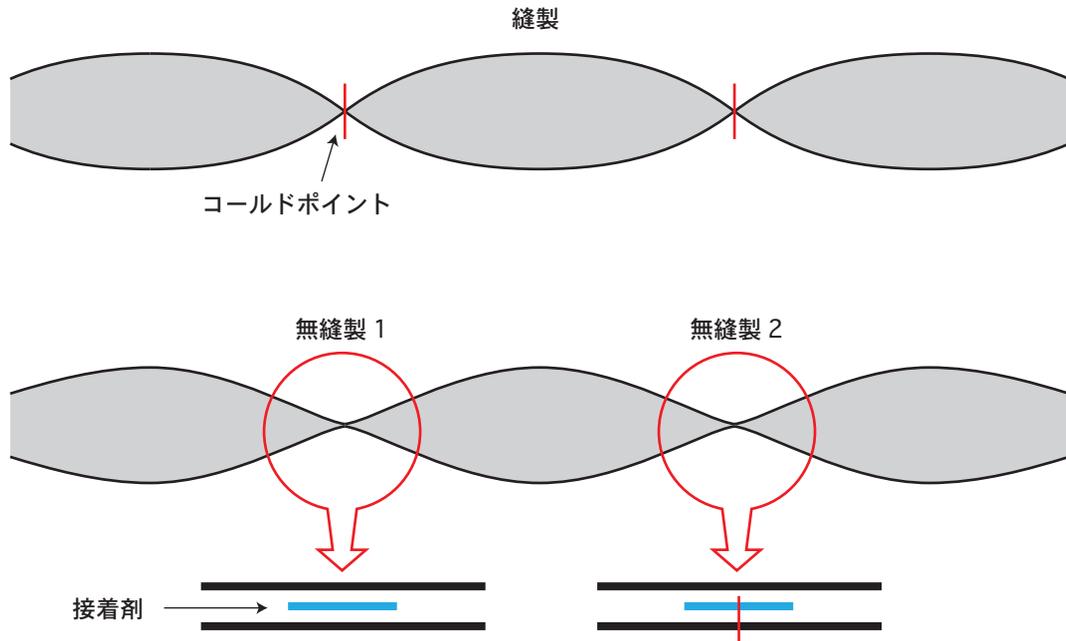
全体のダウン量はこれまでの経験則を元に割り出すのが普通だが、他社製品の分析も重要。各パーツ毎のダウン量は、パーツの面積比に応じて配分される。



バッフル構造

● 2層貫通構造

昔から用いられている一般的な構造。単純な構造であるためローコストが実現できるというメリットがある反面ダウン抜けやコールドポイントの問題がある。



● 隔壁構造

2層貫通構造の欠点を補うために考え出された構造。隔壁によってバッフルが独立するためコールドポイントができないというメリットがある。さらに隔壁はミシンで縫い付ける縫製仕様と、接着テープを用いた無縫製仕様の2種類がある。無縫製はより複雑な構造となるため当然コストアップにつながるが、それを上回る大きなメリットが得られるため、極所エクスペディションでは無縫製仕様が主流。

